



◇学芸発表会

透き通るような青空のもと、11月6日（木）にアクトシティ浜松大ホールにて学芸発表会が開催されました。この日に向けて実行委員会が組織され、着々と準備を重ねてきました。それとともに、合唱コンクールに向けて、各学級でも練習を重ねてきました。学芸発表会は文化的な行事の祭典です。合唱コンクールだけではなく、英語スピーチや吹奏楽部による演奏のみならず、今年度の特別企画である、生徒会企画「自主発表イベント」もあわせて執り行われました。会の進行においても実行委員による細やかな配慮がなされ、入念に準備が行われたことがうかがえました。

「合唱コンクール」においては、これまでの練習の成果がいかに発揮され、すべての生徒が真剣な表情で精一杯表現する姿が印象に残りました。アクトシティ浜松大ホールという国際的なコンクールも行われる大きな舞台に立ち、自分を表現できる機会は人生においてもそう多くはないはずです。このような大きな舞台に立ち、全力で取り組んだこの経験は他には代えられないものがあつたはずです。合唱中の真剣な表情から一転、歌い切った後の爽やかな表情や笑顔からは、達成感や充実感等、言葉では言い表せないくらいの満足感に満ち溢れていたことでしょう。

「英語スピーチ」では、西部地区英語弁論大会まで進出した滑らかで流暢なスピーチが披露され、聴いている人たちを引き込む様子が見られました。身振り手振りを交えてのスピーチで自己をしっかりと表現し、聴いているものを英語の世界に浸らせることができました。

「自主発表イベント」では、ダンスや英語、体操、空手といった学校以外で習得した技術を披露しました。今年度限りの特別企画でしたが、大いに会場を盛り上げることができました。出演した生徒の新たな一面を知る機会になったと思います。

「吹奏楽部による演奏」では、3年生がこの演奏をもって引退をすることもあって、気持ちのこもった力強い演奏が大ホールに響き渡りました。1年生から3年生がそろって演奏する最後の舞台。それぞれの部員がそれぞれの思いをもって演奏に臨みました。吹奏楽コンクールで東海大会に出場したその実力をいかに発揮し、観客みんながその演奏に酔いしれました。

閉会式における校長からの「対話ができた人」「信頼を深めることができた人」「感謝することができた人」に対する自己評価で、すべての項目で割れんばかりの拍手が起きた瞬間、生徒たちの学芸発表会に対する熱、大満足の成果を収めることができた充足感を見ているものすべてが実感しました。

